

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164090	6次産業化推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		2,936	1,547		-1,389
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	525		525
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	2,936	1,022		-1,914

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	平成31年度	~	平成31年度
------	-------	------	--------	---	--------

部重点施策における目標
地域づくりへの参加を促進する

事業開始の背景・経緯
・平成26年6月に閣議決定された日本再興戦略（改訂2014）においては、6次産業の市場規模を現状の1兆円から2020年までに10兆円にするとの目標を掲げている。市としても、地域活性化を図るため、農業・農村の6次産業化を総合的に支援する必要がある。

事業概要
6次産業化セミナー・個別相談会の開催 1,090千円
6次産業化志向者を対象としたセミナー・個別相談会を開催
農商工連携推進 457千円
新たな加工品開発等にかかる農商工連携事業補助金の交付等

担当部署	05250000 地域振興部 6次産業	担当課長	鈴木早織
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況
今年度開催の6次産業化プランニング講座受講者より、専門家への個別相談実施、繰り返し学ばないと実践につながっていかないなどの意見がある。

事業手法の詳細1
<ul style="list-style-type: none"> <li>6次産業化セミナー・個別相談会の開催</li> <li>6次産業化基礎・事業計画作成セミナー             <ul style="list-style-type: none"> <li>6次産業化に必要な知識を段階的に学び、実践するイメージを作るため、6次産業化の考え方や事例、必要なステップなどの知識習得と、参加者個別の事業計画書作成を行うセミナーを1日3時間、全4日の日程で開催する。</li> </ul> </li> <li>6次産業化分野別セミナー・ワンストップ個別相談会             <ul style="list-style-type: none"> <li>6次産業化に係る事業者の個別課題を専門的見地から解決するため、商品開発、加工、販路開拓経営管理等のテーマに基づき、専門家の考え方を理解するセミナーと、各分野の専門家によるワンストップ個別相談会をセットで複数回開催する。</li> </ul> </li> </ul>
農商工連携推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>農商工連携事業補助金             <ul style="list-style-type: none"> <li>花巻産の農畜産物を活用し、加工品開発、加工施設整備及び販売・提供施設整備に要する経費を助成する。</li> </ul> </li> <li>食品商談会等同行             <ul style="list-style-type: none"> <li>農商工連携補助金の活用や市の伴走支援により事業者が開発した6次産業化商品の販路開拓を支援するため、事業者が参加する首都圏での商談会等に同行する。</li> </ul> </li> <li>農商工連携・6次産業化に関する情報提供             <ul style="list-style-type: none"> <li>段階に応じた自主的な6次産業化の実践を促すため、6次産業化に関するセミナーや商談会、展示会等の開催情報を提供する。</li> </ul> </li> </ul>

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164360	花巻クラフトワイン・シードルブランド化推

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		19,677	13,044		-6,633
財源内訳	国費	7,601	6,029		-1,572
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	8,000	5,000		-3,000
	一般財源	4,076	2,015		-2,061

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	~

部重点施策における目標

地域づくりへの参加を促進する

事業開始の背景・経緯

・平成28年11月29日に国の構造改革特区「花巻クラフトワイン・シードル特区」の認定を受け、農業者等による果実酒製造への新規参入や果実の高付加価値化、市外からの移住を含めた新たな担い手の確保が期待される。

事業概要

いわてワインヒルズ推進協議会負担金等 50千円

構成団体負担金

ワイン・シードル醸造志向者に対する支援 2,883千円

醸造研修受け入れ支援、先進地視察バス運行、セミナー開催、ワイナリー整備等事業補助金

花巻ワインプロモーションイベント開催 4,766千円

首都圏でのワインプロモーションイベントの開催

担当部署	05250000 地域振興部 6次産業	担当課長	鈴木早織
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

いわてワインヒルズ推進協議会

・平成29年6月6日、ワインを核とした産業の振興と地域の活性化を図ることを目的として、岩手県や県内ワイナリー、関係市町村等で構成される「いわてワインヒルズ推進協議会」が設立。本市からは㈱エーデルワイン、高橋葡萄園、(合)亀ヶ森醸造所の3ワイナリーが参加。

ワイン・シードル醸造志向者に対する支援

- ・醸造研修受け入れ支援
- ・醸造志向者による先進地視察
- ・醸造技術・ワイナリー経営セミナーの開催
- ・ワイナリー整備等事業費補助金

花巻ワインプロモーションイベントの開催

・日本ワインの産地として、山梨県、長野県、北海道、山形県の認知度は高いが、山形県に次ぐワイナリー数を有する岩手県の認知度は低い。大迫地域のワインは50年以上の歴史があり、国内外のワインコンクールでも高評価を受けているものの、近年の日本ワインブームにより、全国各地においてワイナリーが新設されていることから、このままでは埋没してしまう可能性がある。ワイン消費量の多い首都圏での販路開拓と、花巻ワインの認知度向上のため、首都圏でのプロモーションイベントを開催する。

ワインツーリズムの実施

・ワイン産地としての認知度を高め、交流人口の増加を図るため、本市におけるワインツーリズムの取り組み方について、市内関係者を巻き込んだワークショップを通じて検討を行う。また、その結果を踏まえたワインツーリズムを企画・実施する。将来的には、地域のプレイヤーを巻き込むことで、ワインツーリズムのノウハウを活用した新たな地域ビジネスを創出することを目指す。